

街角スケッチ

あなたが写っていたらご連絡ください。
写真を差し上げます。
秘書広報課 ☎ 22 - 8112

委嘱状を手渡す市長



誓いのことばを述べる堂田さん



安心な消費生活のために

4月12日 暮らしのアドバイザー・消費生活モニター委嘱式

「暮らしのアドバイザー」と「消費生活モニター」の委嘱式が市役所で行われました。市長は「市民からの相談が複雑化している。市民と行政との橋渡しとして、安心して消費生活ができるまちづくりに協力して欲しい」とあいさつし、一人ひとりに委嘱状を手渡しました。任期は1年間で、アドバイザーは主に市民からの消費に関する相談、モニターは、主に市内の価格調査を行います。

生涯日々勉強

4月12日 いきいき生涯大学入学式

高齢者の学びの場である「いきいき生涯大学」の入学式があいあいプラザで行われました。66人が新たに入学し、在校生90人が見守る中、新入生代表の堂田竹男さんが「仲間と共に勉学に励み、地域社会に貢献したい」と誓いのことばを述べました。新入生は、2年間仲間と共に大学教授による講演や文化財めぐり、健康体操などの実習やクラブ活動に取り組んでいきます。

中池見湿地の自然を守っていきましょう！



講演をする名執芳博氏



市民の宝、未来への贈り物

4月21日 シンポジウム「日本の湿地を守ろう！」

男女共同参画センターでシンポジウム「日本の湿地を守ろう！～ラムサール条約COP11へ向けて～」が開催されました。市内で活動するNPO法人ウエットランド中池見などが主催し、ラムサール条約登録地を目指す中池見湿地を市民にPRするために企画。シンポジウムでは、ウエットランド中池見の理事長世木智恵子氏による中池見湿地の現状報告や元環境省自然環境局野生生物課長で長尾自然環境財団の名執芳博氏による「ラムサール条約の登録湿地とは何か」の講演会などが行われ、参加した人は、国際的に重要な湿地と認められることに期待し、中池見湿地の保全に理解を深めていました。

TOPICS

消防訓練センター完成

中央町2丁目に敦賀消防署消防訓練センターが完成しました。建物は鉄筋コンクリート、主塔が約20メートルの6階建て、副塔が約14メートルの4階建て。4月21日の落成式では、市長が「消防への関心が高まる。地域住民の安心安全を守るためさらに訓練に励んでほしい。」とあいさつ。

同センターでは人命救助を目的とした職員の訓練、敦賀消防団「つるが鳶」の訓練、更には、住民の煙体験等ができ、火災の恐ろしさや避難の難しさを体験することができます。



職員の訓練の様子



テープカットが行われました

市長から委嘱を受ける相談員



経験を生かして

4月20日 身体・知的障害者相談員委嘱式

「身体・知的障害者相談員委嘱式」が市役所で行われ、身体障害者相談員8人、知的障害者相談員3人が2年間の任期で市長から委嘱されました。身体障害者相談員は同じ障がい者の立場から、知的障害者相談員は知的障がい者の関係者として、常日ごろの経験を生かし障がいのある方やその保護者からの相談にあたっていきます。市長は「皆さんの力を福祉行政に貸してほしい。市としても県や国に働きかけをしていきたい」とあいさつしました。

イースターエッグづくりに夢中！



卵で異文化体験！

4月6日 イースターエッグをつくろう！

市民の国際交流を目的に、敦賀国際交流ネットワークが市内在住の外国籍の方を講師に招き「イースターエッグを作ろう！」を開催しました。イースターエッグとは、キリスト教で復活祭を祝うために装飾された卵のこと。この日は、子どもから年配の方まで32人が参加し、卵におもしろい絵を描いていきました。絵付けされた卵を染料に付けると色鮮やかなイースターエッグが完成。参加者は初めて体験する異文化を楽しみました。

誓いの言葉を述べる中川さん



志高く看護の道へ

4月5日 看護専門学校入学式

看護専門学校の入学式が同校で行われました。今年は市内外から30人（女性26人、男性4人）が入学。清水のみ子学校長が「先の東日本大震災から覚悟をもって看護の道を志す人が増えた。本学で強い意志を持って勉学に励んで欲しい」と激励。入学生を代表して中川美咲さんが「医療の現場に早く立てよう夢に向かって学び努力していきます」と力強く誓いました。